

防犯は、人ではなく場所で判断しよう

「子どもは『この場所』で襲われる」(小宮信夫 小学館)という本があります。この本の中では「不審者に気をつけなさい。」という言葉は、あまり意味がないと指摘しています。過去の不審者の報告例を見ても、帽子を目深にかぶり、サングラスやマスクをしていた犯罪者は、1割にも満たないのだそうです。筆者が主張するのは、「入りやすく見えにくい場所を避ける判断力」です。「入りやすく見えにくい場所」とは、例えば、「通りの両側に高い塀が続く住宅地」「木々に囲まれている公園」「見通しのよい周囲が田んぼの道」などです。つまり、簡単に子どもに近づくことができ、目撃されにくい場所です。「人は嘘をつくが、場所は嘘をつかない。」とも書かれてあります。



なお、場所ではなく、人を警戒しすぎると、「不審者」を外見で判断することになり、外見的特徴が平均的な日本人と異なる人に対象を求めるようになるので、差別の芽を育てることにつながるのだそうです。ご家庭でも、お子さんと話し合われてください。

業務改善にご協力ください

現在、北九州市教育委員会では、定時に退勤できない日が非常に多い学校現場の勤務状況を改善するために、全市的に業務改善を進めています。学校行事の内容、会議の回数や進め方などは、本校の教職員の努力で改善が可能です。しかし、家庭訪問や個人懇談会などの日程や時間帯については、保護者の皆様のご協力が必要になります。

本校では、今後は、家庭訪問及び個人懇談会についても17時までに終わるようにしたいと考えています。そこで、保護者の皆様には、次のように対応して下さるようお願いいたします。

家庭訪問及び個人懇談会の希望日と希望時間帯について

- ① まず、案内文書に記載された期間と時間帯で調整して決める。
- ② 案内文書の期間と時間帯で都合がつかない場合は、17時より前の時間帯で都合がつく別の日を担任と調整する。

②については、担任も出張や校内行事との兼ね合いがありますので、保護者の方と個別に話し合って日程や時間帯を決めることとなります。

家庭訪問も、個人懇談会も、保護者の方とお会いしてお話ができる貴重な機会ですので、大切にしたいと考えています。担任も、この機会を確保するため、校内のスケジュールを見て日程調整の努力をします。保護者の皆様のお一人ずつが少し調整して下さるだけで、学校全体では大きな業務改善になります。どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

